

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝	
日時	2019年12月28日（土）		10:20 ~
会場	小樽市総合体育館Bコート		
結果	<b>江別第二</b> 石狩 56	$\left. \begin{array}{r} 9 - 9 \\ 20 - 9 \\ 15 - 13 \\ 12 - 13 \end{array} \right\}$	<b>啓明</b> 札幌 44

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【戦評】

「1Q」江別第二④⑤⑥⑦⑧、札幌啓明②⑦⑬⑲⑳㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺でスタート。啓明㉔の3Pで先制。㉔の連続得点で0-5、江別第二⑥のシュートで3点差にするも㉔の連続得点で2-9となった。そこで江別第二がタイムアウト。タイムアウト明け、江別第二⑤がドライブから得点。⑦がバスケットカウントワンショット、⑤が最後にシュートを決め、9-9で1Q終了。

「2Q」メンバー変わらず江別第二ボールでスタート。江別第二の⑦のドライブで逆転に成功するも、札幌啓明③がフリースローを2本決め再び同点。その後、再び江別第二⑦がドライブで得点。札幌啓明のオフェンスチャージングを機に、江別第二が連続6得点を決め、その後は、札幌啓明、江別第二とお互いに攻防が続き得点を重ねたが、終盤、江別第二の⑦が連続シュートを決め、29-18で前半を終了。

「3Q」札幌啓明はメンバーを入れ替え札幌啓明ボールでスタート。札幌啓明㉔の連続得点で6点差に詰め寄るも、江別第二がオフェンスリバウンドからのセカンド、サードチャンスを活かし、連続得点でリードを広げる。終盤、札幌啓明が3Pシュート2本で追いつこうとするが、江別第二のスティールやリバウンドからのカウンターで、44-31で3Qを終了。

「4Q」江別第二ボールでスタート。札幌啓明が得点后、オールコートマンツーマンを仕掛け、パスカットから連続得点したところで、江別第二がタイムアウト。その後もお互いに攻防が続いたが、終始リバウンドを制した江別第二が56-44で逃げ切り、勝利した。

両チームなかなかシュートが決まらずに我慢の時間帯もあったが、最後まで諦めずに戦いぬいた両チームの健闘を称えたい。

記録 小樽地区バスケットボール協会U15部会 村上 慎司